

東京都教育委員会の教育目標
子供たちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、 ○互いの人格を尊重し思いやりと規範意識のある人間 ○社会の一員として、社会に貢献しようとする人間 ○自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間の育成に向けた教育を重視する。 ※学校教育及び社会教育の充実 ※生涯学習社会の実現 ※家庭、学校、地域の責任と連携 ※全都民が教育に参加

港区の基本目標と教育改革の目指す方向
(1) 徳・知・体を育む学びの推進 (2) 生き抜く力を育む学びの推進 (3) 地域社会で支え合う学びの推進 (4) 学びを支える教育環境の充実 ◎学校経営のベクトル ①港区学校教育推進計画を基盤として、組織的に（港区教育ビジョンの推進） ②授業研究を通して教員の資質向上 ③港区研究奨励校として授業研究の継続 ④児童数・学級数増に積極的に対応 ⑤地域、PTA、青少年委員とともに歩む学校

本校の教育目標
人間尊重の精神を培い、心身ともに健やかで広く世界に目を向けた、個性豊かな意欲あふれる児童の育成を目指し次の目標を設定する。 よく考えて学習する子 自分の力に合った学習課題をもち、解決しようとする子 すなおで心豊かな子 思いやりの心をもち、友達や自分を大切にすること 進んではたらき協力する子 みんなのためになる仕事に進んで取り組み、友達と協力すること 健康でがんばりぬく子 様々なことを粘り強く最後までやりとげ、進んで心身を鍛える子

こんな港南小に  
子供たちが「できるようになった。分かるようになった。だから学校が楽しい」と思い、  
保護者が「登校させて安心。子供たちの成長が楽しみ」と感じ、  
地域の人々が「私たちの町の学校を応援したい」と期待し、  
そして、教職員が「やりがいがある」「初任の学校でよかった」と振り返られるような学校

目指す学校像
◎子供たちに確かな学力を定着させる学校 ○一人一人の子供の力に合わせた学習指導・・・補充的内容が必要な子、発展的内容が必要な子がいる ・学ぶ意欲を継続・向上させ、学び方や振り返り方を知ること→適切な課題設定と自己評価 ・各教科の基礎的・基本的内容を重視 ・学びに向かう力の育成 ◎子供たちの健全な成長を保障する学校 ○生活規範意識を高める指導、生命を尊重する指導に重点：「ならぬものは、ならぬ」「粘り強く、最後までがまんすること」 ・きまりを守り、友達と仲良くし、いじめをしない子・・・大きな「い」と小さな「い」いたずら・いじわる・いやがらせ ・生命の大切さが分かり、安全で健康な生活を送る子 ◎子供たちに豊かな心をはぐくむ学校 ○人とのかかわり合いの中で、豊かな心をもつ子供を育成する ・教科や行事等を通して人とのかかわり合いや自己肯定感の向上を図る

中期的目標と方策

29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
◎港区教育ビジョンの推進 ←教員の授業力向上、児童の学力定着・向上 ◎少人数算数指導の充実：4学級6～9展開、5,6学級9～10展開 ◎交換授業、学年内教科担任制の導入 ←複数の目で児童理解			※学年担任 ※4～6人で4～6学級を担任するという意識をもつ	
◎幼保小中連携教育の推進	幼保中への新たな働きかけ、港南アカデミー、幼保小連絡会・交流会等			
◎特別支援教育の充実	適正就学・適正支援。障害のある児童や発達障害の児童への指導の充実			
◎人権尊重教育、生命尊重教育の充実	→いじめ、仲間はずれをしない。身近な動植物愛護。体罰根絶。			
◎運動・健康・安全	：体力向上、体育学習指導、業間運動の充実、放課後の運動部活動の活性化、防災意識の向上			
◎異年齢集団交流の充実 ←◎たてわり活動等の重視 ◎体験活動の重視と保護者・地域等との連携→例：夏休み港南クラブの充実←PTA・地域	◎保護者ボランティア、緊急メール全入			
◎研究奨励校発表	◎研究発表			
◎オリンピック・パラリンピック教育の実践				
次期学習指導要領に向けての準備（特別な教科 道徳の先行実施）	学習指導要領完全実施			

